

---

# 愛と医者の召喚獣

天読

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

愛と医者 の 召喚獣

### 【Nコード】

N4130Z

### 【作者名】

天読

### 【あらすじ】

神の腕を持つと言われている医者の娘で、世界最年少で医者になった『西川歩美』。彼女は留学のために小学生の頃に離れ離れになった『彼』に会うために文月学園に入学した。

勉強ばかりだった留学時代分の青春、そして3年間彼に会えなく溜まった欲求を満たすがごとく、彼女の高校生活が幕を開ける。

## プロローグ

学園長室、　そこで二人の人間が話し合っていた。

「あんだ、　半年前に免許取ったんだろ？　だったら高校なんかに来てないで働いたらどうだい？」

目の前の白衣の女性に嫌味ったらしく言い放つ老婆、　この文月学園の最高権力者、　藤堂カヲル学園長。

「貴女みたいに老いた人間には理解出来ない理由があるんですよ」  
妖艶な笑みを浮かべ、　嫌味を嫌味で返す白衣の女性。

「小学校卒業後、　アメリカに留学して最年少で医師になった“天才”の考えなんて私には分かるわけないさね」

「あら、　天才科学者の藤堂カヲルさんにそう言われるとは光栄ですな」

「……………あんだに言われても嫌味にしか聞こえないさね」  
クスクス笑いながら言う女性に皮肉たっぷり言い返す学園長。

「で、　なんでFクラスがいいんだい？　あんだはどう考えたって学園一の頭脳を持っているのに」

こんな無駄話をしていても、　ストレスが溜まるだけと判断した学園長は、　本題に切り替える。

「真面目に勉強したくないからですけど」

「……………あんたは何のためにこの学校に転入してきたんだい」

女性の返答に、大きな溜息をつく学園長。

「それに、Aクラスには“彼”がいます」

「なんだい？ 知り合いでもいるのかい？」

「か、彼氏です」

「……………まさかそんな理由で入学してきたとはね」

頬に手をあて、顔を真っ赤にして幸せそうな表情を浮かべる女性を見て、学園長は再び大きな溜息をつく。

「で、なんでその彼氏と同じクラスにしないんだい？」

「彼は頭がいいから、絶対にAクラスに在籍していると信じているんです。それに彼は優しく、カッコ良くて——」

「そんなことは聞いてないさね——！」

問いと全く関係ない惚気話を始めた女性に大声で怒鳴る学園長。

そんな学園長の態度に少し不機嫌そうな表情を浮かべる女性。

「私がAクラスに入ったら、彼に所構わず甘えてしまって授業の邪魔をしてしまうからです。だって、彼は優しく、とても

カッコ良くー！ー」

「はいはい分かったよ！ Fクラスへの編入を認めるよ！！ 制服は後日届けるからさっさと教室に行くさね！！」

女性が再び惚気話を始めようとしたので、学園長は強引に話を終え早く部屋から出て行くように言う。

「はあ、 トシ君。 早く会いたいよお」

そんな学園長の言葉も聞こえないくらいに、妄想の世界に入り込んでしまっている女性。

「．．．．．また手のかかるクソガキが増えたさね。 西村先生！ このクソガキをさっさと連れて行きな！！」

今日何度目かの溜息をつき、部屋の扉に向かって一人の教師の名を呼ぶ。

「失礼します学園長。 編入生の西川歩美医師は．．．．．彼女ですか？」

学園長室に入ってきたスポーツマン然とした教師、西村先生は妄想世界から帰ってこれていない歩美を見て、困惑の表情を浮かべる。

「そつだよ。 これがああの西川泰造の娘さね」

「はあ、 天才は何かと変わった人物が多いと言いますが、 本当のようですね」

「天才と変人は紙一重ってことさね」

「・・・・・・・・・・」

学園長の発言に対して、あんたが言えることか？とでも言いたげな西村先生だったが、特に何も言わず妄想世界にいる歩美を連れて学園長室を後にした。

## 第1問

「間に合ったー！」

FクラスとAクラスの試験召喚戦争が終わって4日後の朝、明久はいつも通り遅刻ギリギリに教室に飛び込んだ。

「おはようアキ」

「おはようございます明久君」

「おはよう姫路さんと美波。 . . . . . ところで雄二達と何してるの？」

明久に笑顔で挨拶をする二人に、教室の一番後ろのダンボールで集まっている理由を聞く明久。

「おはようじゃ明久。 何でも今日Fクラスに転校生が来るという噂があるのじゃ」

「転校生？」

「 . . . . . 女子らしい」

「女子！？ それは本当なのムツツリーニ！？」

転校生が女子ということを知り、目を輝かせる明久。

「留学先のアメリカから日本に帰ってきたらしいぜ」

「じゃあ英語とかペラペラなのかな？」

「多分そうだろうな。こりゃ試召戦争の戦力になること間違いなしだぜ」

明久とは違う観点で目を輝かせる雄二。

『転校生の女の子。 ついに俺にフラグが立ったぜ!!』

『お前に立つのはいつでも失恋フラグだろ？ 転校生ちゃんは俺が  
いただくぜ!!』

他のFクラスの男子も、胸に無駄な期待を抱いてバカ騒ぎしている。

「おい貴様ら静かにしろ」

そんなバカ騒ぎしている教室に、Fクラスの担任である西村先生が疲れたような顔をして入ってきた。

「えー、貴様らの様子を見る限りもう知っていると思うが、今日はこのFクラスに転校してきた生徒を紹介する」

西村先生が廊下側に向かって入れと言うと、扉から白衣を着た女性、西川歩美がゆっくりとした足取りで入ってきて、黒板に自分の字を書く。

「アメリカから転校してきました西川歩美です。 よろしくね」

そして大人びた笑顔を浮かべながら自己紹介をする。

『『』……………』』

その瞬間、あれ程バカ騒ぎしていたクラスが静まり返る。そして

『『』眼福じゃあああああアアアッ！』』

鼻血をすごい勢いで噴出するバカ達。Fクラスから歩美への歓迎のおもてなしは、血の噴水という形になった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4130z/>

---

愛と医者<sup>の</sup>召喚獣

2011年12月14日20時52分発行